

カリフォルニアの風（4月増刊号）

「図書コーナー『充実』に想う」

「何かいいのが、借りられたかな」

このお言葉は、図書ボランティアの一人が、今年度初めて本を借りにきた子どもたちに向けて掛けてくださったお言葉です。いつも、子どもたちのために、ありがとうございます。

図書ボランティアの方は、子どもたちの登校に合わせて図書コーナーを準備して下さいます。ボランティアの方々はすべて保護者の皆様。日本の学校ならば、当たり前のように図書室が設置されていますが、ここには、それがありません。現地校をお借りし、土曜日のみ授業を行う補習校だからです。

その土曜日一日のために、本に親しむ環境をつくって下さっています。

並べるときは本のタイトルが見やすいように、また興味や関心を引くようにジャンル別に整理されるなどの工夫をして下さっています。さらに、効率よく貸出しができるように貸出コーナーを複数設けて下さっています。また休み時間に各教室を巡回し返却する本を集めてくださるなど、子どもたちに読書する機会を積極的につくって下さっています。

つい先週、私が訪問した学校は、幼稚部の子どもたちが初めて本を借りる日でした。

子どもたちが担任の先生に付き添われてやってきました。本を入れる布バッグをぶら下げ一列に並んでいます。

「おはようございます」と、ボランティアの方に声を掛けられると、元気な声で「おはようございます」と返しています。その後、子どもたちは本が並べてあるところへいそいで向かい始めました。その動きの速さから、ワクワクする気持ちが抑えられない様子が伝わってきました。

子どもたちは、並べられた本のタイトルや表紙絵を見て、二冊を選び、貸出しカウンターへと向かいます。そこにボランティアの方から、「あなたは2番」「あなたは3番へ」と指示がありました。その番号のカウンターがどこにあるか分からないでいると、ボランティアの方が傍によってカウンターのある方向を掌で示したり、一方のカウンターでは表示物を上げて番号に気付かせたりと工夫をされて、子どもたちを送り迎えて下さっていました。

たどり着いたカウンターでは、「お名前は?」、「〇〇です」の返答に、「すばらしい」という声をかけてもらい、思わずニコッと。

この日も子どもたちは、「日本語で楽しく学ぶ」を実感していました。

本校4校の子どもたち、図書コーナーのみならず、ランチ当番、下校当番など、保護者の皆様のお支え、また工夫充実して下さるおかげで、今月も楽しく過ごすことができます。本当に、ありがとうございます。改めまして心から感謝申し上げます。

去る始業式、子どもたちにお話したかったことがありましたが、直に、の機会がなく、今日に至りました。恐れ入りますが、以下にその内容を載せておりますので、お家の人からお子さんにお話をしてくださいましたら、と願っております。併せて、入学式で新入生に向けたスピーチ内容も載せております。ご協力いただけましたら幸いです。

小学部の皆さんへ（始業式）

今日から、新年度が始まります。

今、私たちの周りは、花の便りでいっぱいです。

小鳥のさえずりも、みなさんの進級をお祝いしているように感じられます。

3月まで1年生の皆さんは、しっかりとお話を聴くことができる新2年生になりました。

2年生は、あったか言葉でお話ができる新3年生に。

3年生は、みんなでここに協力して頑張る4年生に。

4年生は、笑顔であいさつする新5年生に。

5年生は、自分からみんなのために活動する最上級生の新6年生になりました。

今日から、新しい学年、新しい学級で、新しい教科書と、新しい友だちと、日本語で学ぶ学習が始まります。

皆さんは、補習校での生活や授業で、間違えたり失敗したりすることもあるでしょう。

ここ補習校は、失敗していいところです。間違っていていいところです。たくさん、間違いや失敗をしましょう。

新しい学級も、失敗しても間違えても、次のチャレンジができるところです。

笑顔でゆったりと学習していきましょう。

あったか言葉で、お互いに励まし合いながら、新しいことにチャレンジし、日本語で学ぶ楽しさを感じてください。

小学部1年生の皆さんへ（入学式）

1年生となった皆さんには、これからお話する3つのことをがんばってほしいと思っています。

1つ目は、学校に、休まず元気に来る、ということ。

2つ目は、先生のお話を、よく聞くということ。

3つ目は、お友だちと仲良くするということ。

今日から、日本語で学ぶ楽しさを感じているあなたの笑顔が見られることを、期待しています。

幼稚部に入学された皆さんへ（入学式）

これから皆さんは、毎週土曜日、お友だちや先生と、いっしょに遊んだり、歌を歌ったりして、楽しい時間を過ごすことになります。

その時に、大切なことを2つ言います。

ひとつは、先生や、お家の人のことをよく聞く、ということです。

もう一つは、自分でできることは、自分でしましょう、ということです。

（くり返して、お話を終えました）

中高部の皆さんへ（始業式）

今日から、新年度が始まります。

一人一人、進級されましたこと、これまでの努力を高く評価すると同時に、心からお祝いいたします。

高等部2年生の皆さん、中学部3年生の皆さんは、今日から、各学部の最上級生となります。特に、高等部2年生は、本校の最高学部生として、下級生をリードする立場になるということを実感され、学校生活を送られることを、期待しています。

また、中学部2年生の皆さんは、先輩方の活動ぶりをしっかり見て、「本校の良き伝統」が引き継がれるよう、協力をお願いいたします。

さて、新年度のスタートに当たり、心がけてほしいことを、一つだけお話します。

それは、「自分のよさを伸ばしてほしい」ということ。

人は誰もが、よいところを持っています。そのよさを伸ばす努力をしてください。

自分のよさを、新しい学年・学級の仲間と一緒に生活していく中で伸ばしていく、その活動が日本語で学ぶ楽しさにつながっていきます。「日本語で学ぶ楽しさ」を、実感してください。

中高部へ入学された皆さんへ（入学式）

「ご入学、おめでとうございます。」
皆さんのご入学を、上級生の人たち、先生方が楽しみに待っていました。

皆さんは、補習校と現地校の二つの学校で学ぶことを自ら選びました。このことは、決して、やさしいことではありません。

今まで以上に、時間を管理し、たゆまぬ努力と日本語で学ぶという強い意志が必要になります。困難にめげず、最後までやり通してください。

いくつかの困難をくぐり抜けた先に、新しい自分の可能性に気付く、希望の光が見えてきます。その光が見えるよう、私たち教職員は、全力を挙げて皆さんを、応援します。

高等部に入学する皆さんには、もう一つ。

あなたは、補習校の最高学部の生徒となります。まさに本校のリーダーとなります。
そこで、学習面でも生活面でも、後輩の良いお手本になってほしいということ、最高学部生として、力を発揮してくれることを、期待しています。

最後に、全校（4校）の幼児、児童、生徒の皆さんへ

さあ、皆さん、さっそく今日から、この学び舎には、明るい笑顔が溢れ、はずむ声が響くことになります。そのなかで、みなさんが健やかに成長されることを祈念しています。

そして、心からあなたを応援しています。